

# 6 アクティブラーニング 協同学習









アクティブラーニング発表



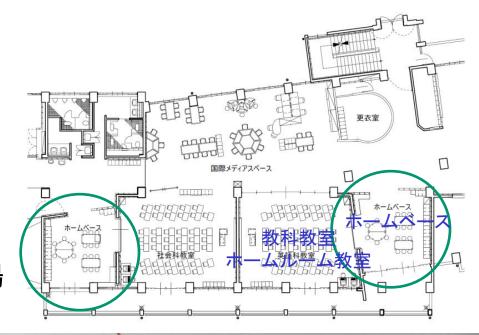




## ホームベース

#### クラスのまとまり

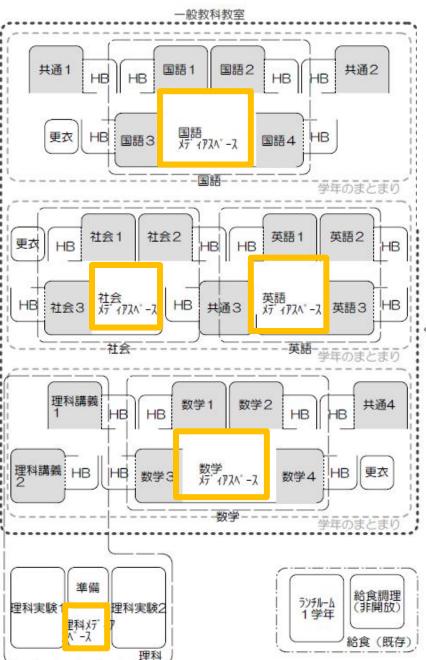
- クラスの学校生活の拠点
- 個人の精神的拠点
- クラスのまとまりをつくる
- 生活専用スペース
- 生徒が自分たちの手で作り上げる場





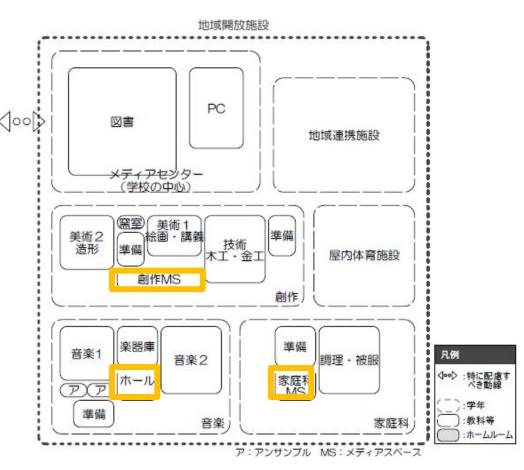


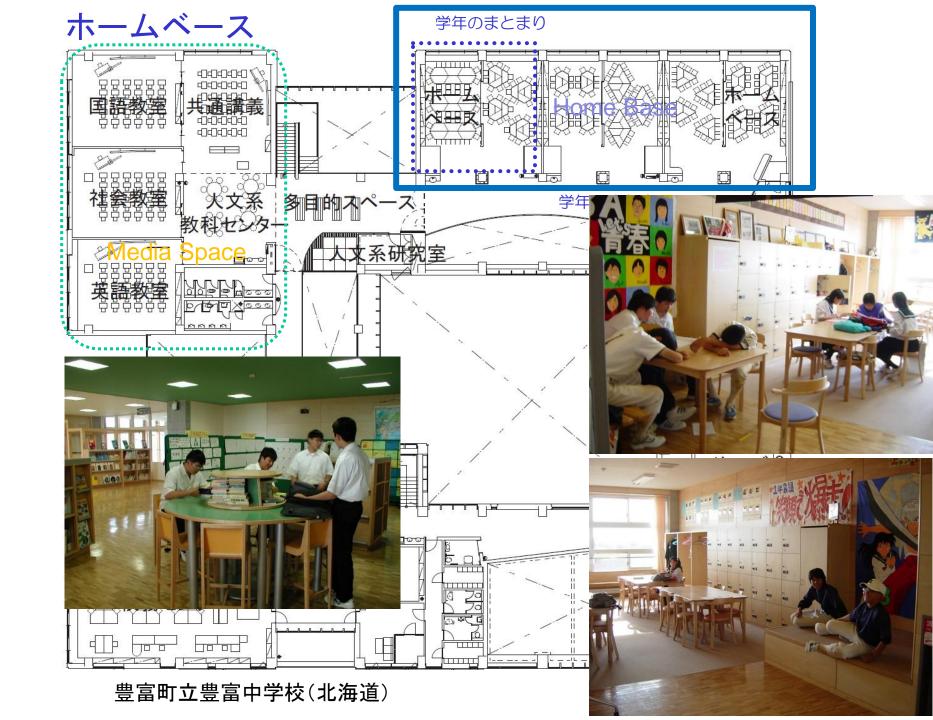
# 教科センター方式ダイヤグラム

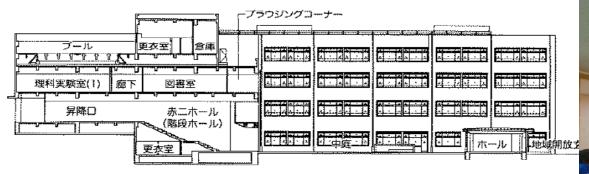


#### 教科センター:

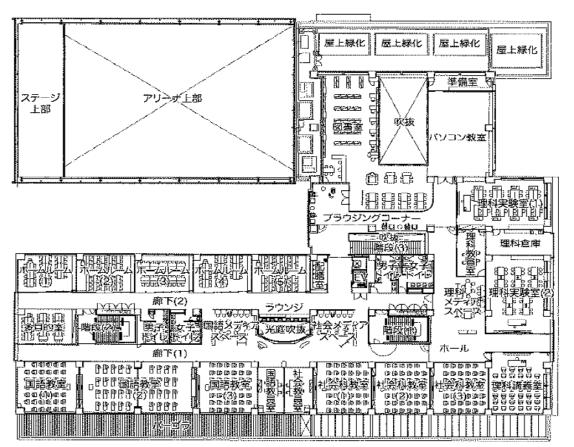
- 教科ごとに教科メディアスペースを配置
- 教科によって掲示、展示、レイアウトなど が行われる
- グループ活動、発表等の場となる
- 移動してきた生徒を待ち受ける







断面図 scale=1

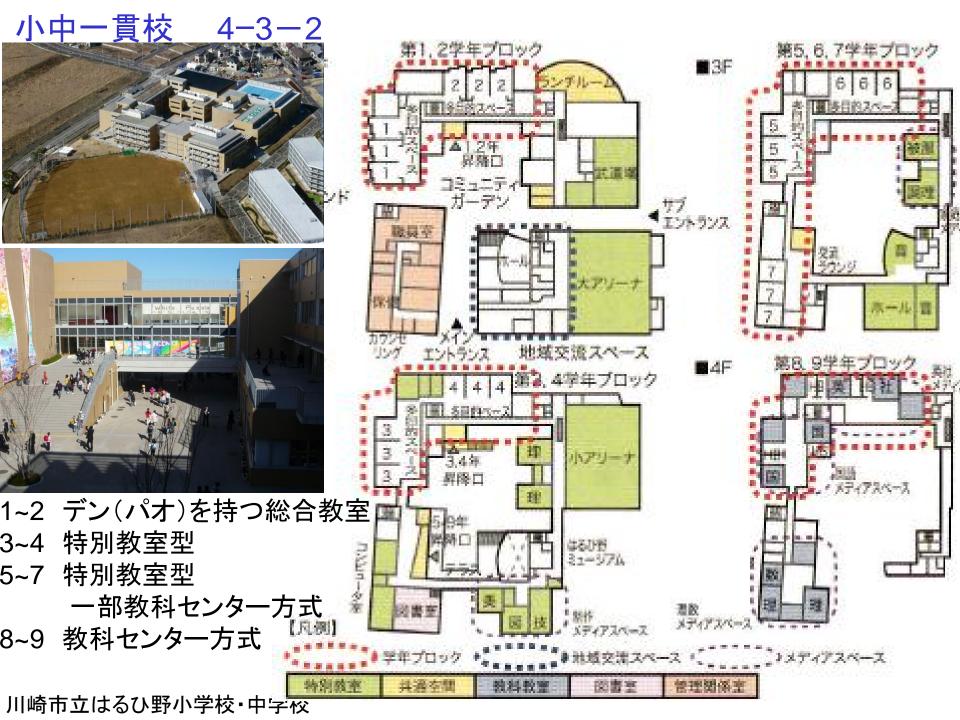








34

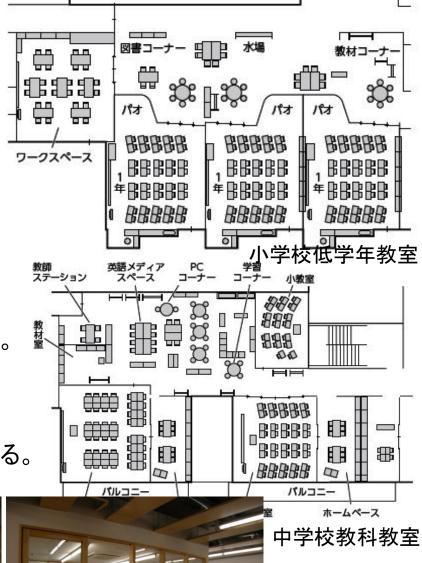


### 小中一貫教育のための計画

- 教育課程の区分に対応した空間構成、施設機能の整備
  - ⇒ 学年・強化のまとまりをつくる。
  - ⇒ 教室まわりの構成、施設機能を確保する。
  - ⇒ 成長が実感できるよう、平面構成や 教室環境に変化をつける。
- ●学年段階の区切りに対応した空間構成、配置、成長段階の演出
  - ⇒ 9年間を段階に分け (4-3-2等) 各段階の特性に応じた教室まわりの構成する。
  - 例)・低学年は教室まわりで様々な活動ができる。
    - ・高学年は教科担任制の導入、定期テスト等, 中学校の要素を考える。
    - 中学校段階では教科教室型の導入を検討する。







5~7年小人数教室

36

川崎市立はるひ野 小学校・中学校

# インクルーシブな学校

通常の学級、通級指導教室、特別支援学級、 特別支援学校の学びの場がつながっている



